

事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書こう

設問 10

●領域 「書くこと」

<出題の趣旨> 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるか。

●問題 学校の英語版ウェブサイトに掲載する学校紹介文を書く。【思考・判断・表現】

あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを公開しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

大丈夫です！
25語って、意外と多くないですよ。
まずは、思考ツールを活用して、
アイデア出しをしてみましょう。

25語って、大変!どこから手を
付けられればいいんでしょうか??

● R5全国学力・学習状況調査調査結果

各学校の結果を記入
してみましょう。

平均
正答率

自校

千葉県

全国

7.0%

7.4%

自校生徒の回答状況を把握していますか?正答率の低さに注目しがちですが、目の前の生徒の様子をまずは把握しましょう。どの段階でつまづいているのか、何ができなくて困っているのか、アンケートで抽出したり、直接インタビューしてみると、自校特有の課題を洗い出せるはずですよ。

課題

- ・正答率は7.0%であり、日常的なテーマについて、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことに大きな課題がある。
- ・無回答者は2割を超えている。無回答者について、「問題の趣旨を理解できていない」、「基本的な語や文法事項等の知識が身に付いていない」などの理由が考えられるが、「そもそも何を書いたら良いのかわからない(整理できない)」という生徒も多数いることが想像される。(→改善案①へ)
- ・「25語以上で」「テーマに即して」「一貫性のある文章で書く」という条件をすべて満たしたが、正答になっていない回答は約3割にのぼる。1文1文が正確に書けることに加えて、前後でつながりのある文(全体としてまとまりのある文)を書く力が求められている。(→改善案②へ)

授業改善案

- ①ウェビングを利用し、テーマについて、まずは自分の考えを整理しよう。
- ②学年ごとに段階を踏んで、既習事項(接続詞等)を利用することで、徐々にまとまりのある英文を書けるように練習しよう。

やり方

- Step1 中央の○に今日のトピックを記入。
- Step2 ○にキーワードを書く。[1 min]
- Step3 □に動詞を書く。[3 mins]
- Step4 文にし、語数をカウントする。[2-3 mins]
- Step5 さらに良くするためにできることを考える。[3-4 mins]

1年時から同じ方法で「書くこと」の練習を始め、3年時までに、25語～35語程度のまとまった文章が即興的に書けるようになることを目指します。そのためには、3年間の系統的、継続的な取り組みを行う体制づくりが必要です。
 時配はあくまでも例ですが、慣れてきたら、このリズムで行いたいですね。



留意点

見いだす

Step1 ・意図的に既習の文法事項を使用させるトピックでもよい。
 例) cannotを使わせたい→トピックを「できること、できないこと」等に。
 「cannotを使って」と言及しない。

自分で取り組む

Step2&3 ・トピックによっては主語を確認する。「I」や「It」で始めがちなので、その都度指導する。
 ・キーワードは英語で書くことが望ましいが、日本語でも可とする。
 ・辞書の使用や教科書巻末等を参考にしても構わないが、**即興的に書く練習**なので、時間をかけすぎてはいけない。
 ・キーワードは5つ程度を目標とするが、時間内で書けた個数でよしとする。

広げ深める

Step4 ・25～35語がどの程度なのかを視覚的に捉え、心理的な不安を除く。
 Step5 ・ペアやグループで行うと、文法的な間違いへの気付きにもつながる。

実践例 Step1～4



I am Sachiko. I like dogs. I love sports. I have a sister. I can play the piano. (18 words)

実践例 Step5

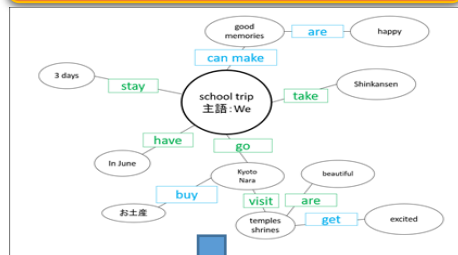


Hi, I am Sachiko. I like dogs but I don't like cats. I love sports. I play volleyball every day. I can play the piano. I have a sister. She can play the piano, too. (35 words)

andやwhenなどの接続詞を使ったら、まとまりのある英文が書けたわ!

25語って、思ったよりあつという間! これならできそう!!

全国学力・学習状況調査



Step1-4 We have a school trip in June. We go to Kyoto and Nara. We stay there for three days. We take Shinkansen. We visit many temples and shrines. They are beautiful. (31 words)

Step 5 We have a school trip in June. We go to Kyoto and Nara and stay there for three days. We take Shinkansen. We will get excited if we visit many beautiful temples and shrines. We can buy a lot of souvenirs. We are very happy because we can make good memories. (51 words)

学年が上がってきたら、不定詞や分詞、関係詞、比較表現なども組み入れると、表現の幅が広がりますね。

接続詞、慣用表現等を使って、自分の考えや理由、感想が述べられたら素晴らしい!

【4技能5領域の統合的な指導に活かす工夫】

- ・聞くこと：聞き取る際にウェビングを使用しキーワードで理解をする。
 ウェビングのキーワードを基に、理解したことを相手に伝える。
- ・読むこと：教科書の本文のキーワードを拾い、それを頼りにリテリングをする。
- ・話すこと：与えられたトピックについて、キーワードをマッピングし、即興的に話す。

